

# 安全データシート

## 1. 製品と製造会社情報

製品名 : ロータリーバー 4 UCW 4 SBW 4 TBW 4 QBW 4 PBW 4 NBW  
製品の種類 : Tungsten Carbide 超硬切削工具類 超硬ロータリーバー  
会社名 : UHT 株式会社  
住所 : 愛知県愛知郡東郷町大字春木字下鏡田 446-268  
電話番号 : 0561-38-2101  
FAX 番号 : 0561-38-2108  
作成日 : 2016 年 10 月 31 日

## 2. 危険及び有害性に関する情報

外観上濃いグレー色及び無臭を特徴とする超硬製品による健康への影響・環境に対する影響・物理的及び化学的有害性と危険性については、米国産業衛生専門家会議(ACGIH)及び米国労働安全衛生委員会(OSHA)の29CFR1910.1200に定義されている条項の内容に準じたものである。これらの製品は加工の作業段階で健康に害を及ぼす可能性のある粉塵を発生させる事があるので吸引・皮膚接触及び目の保護には十分な注意が必要となります。

一般的な取扱いにおいては、危険性は少ないと思われるが、完全な防護装置を着用したり、取扱い後は、接触した皮膚の洗浄をしっかりと行う事が勧められます。特に粉塵やガスが発生した場合は新鮮な空気の所に移動し、症状があれば医者に診てもらふ事が大切です。

GHS 分類 : 分類基準に該当なし。

GHS 絵表示 : 必要ありません。

## 3. 成分の構成に関する情報 \*含有率は重量%で、等級によります。

化学物質名	CAS 番号	含有率	OSHA (PEL)	ACGIH(TLV)
Tungsten Carbide	1270-12-1	80-97%	-	5mg/m3
Cobalt	7440-48-4	3-20%	0.10mg/m3	0.02mg/m3
Tantalum Carbide	1270-06-3	0-1.5%	5mg/m3	5mg/m3
Vanadium Carbide	11130-21-5	0-2%	0.5mg./m3	0.5mg/3

\*超硬ヘッド部・超硬シャンクが対象となります。

## 4. 応急措置

作業者の暴露経路として、吸入・経皮・経眼・経口の4つ可能性がある。

吸入、何かを吸い込んだ場合の応急措置方法

作業環境によっては健康に影響を及ぼす可能性がある有害な煙・ガス・蒸気等を伴った粉塵やミストが発生する場合があります。屋外使用や換気が必用。咳をしたり、呼吸器の異常や息切れなどの健康障害があれば、被災者を空気の新鮮な場所に移し、直ちに医師に連絡をすること。

経皮、何かが皮膚に付着した場合の応急措置方法

患部を石鹸又は中性洗剤で洗浄し、15分-20分以上十分な水で洗い流すこと。  
炎症や発疹が見受けられる場合は、医師の診断を受けること。

経眼、何かが目に入った場合の応急措置方法

直ちに水で洗い流し、眼に入った異物がなくなるまで、時折上下の瞼をつまみ15分から20分以上は注意深く洗うこと。炎症が治らなければ、異物が残っていないかの確認と医師の治療を受けること。

#### 経口、何かを飲み込んだ場合の応急措置方法

まずは口をすすぎ、無理に吐かせないで、大至急医師の診断と指示に従うこと。

### 5. 火災時の措置

- 引火点について : 不燃性であり、発火点は該当なし  
超硬素材本体は火災の危険性はないが、研削作業から発生する粉塵の扱いには注意が必要。蓄積をすると発火の原因になる場合があるので注意。
- 消火溶剤について : 水以外には粉末式（ABC）消火器、砂や石灰を使用する。
- 特有の消火方法について : 狭い区域での消火活動には有毒な煙やガスに有効な防塵マスクを着用する。広い区域の大規模火災の消火活動では自給式呼吸器を使用して下さい。
- 特有の火災や爆発について : 粉塵の粒子の大きさ・分散状況や強力な発火源の存在など稀な状況下では火災や爆発等の危険が考えられるが、通常の見扱状況では問題有りません。

### 6. 漏出時の措置

危険なガスや煙が漏出した場合は人体や環境への影響を考慮して換気に注意を払い新たな粉塵を発生させないように現場を掃除しなければならない。モップの水拭きや適切なフィルターを備えた、粉塵の空中濃度をPEL 又はTLV値に抑えられる掃除機を使用する事。もし粉塵が発生した場合はNIOSH認定の防塵マスクを着用して下さい

### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意事項 : 火災や爆発防止の為には、粉塵の発生を最小限に抑え、拡散を防止し浮遊する粉塵を出来るだけ少なくしなければなりません。特に火花や火元には注意が必要です。
- 保管上の注意事項 : 商品は清潔で涼しい場所で保管されなければなりません。また粉塵の堆積を防ぎ適切な保管維持をすることで、作業者の粉塵の吸入や皮膚との直接接触もなくなり健康への被害も防ぐ事が出来ます。
- 衛生面で大切な事 : 作業後や取扱い後は、手や露出していた部分はよく洗うこと。作業する時に、飲食や喫煙はしないこと。衣類や保護具等についた粉塵を振り落とさないで洗淨・掃除機で取り除くこと。粉塵やミストに日常的に暴露している作業員定期的に健康診断を受けること。

### 8. 暴露防止及び保護措置

- 呼吸器の保護具 : 空气中粉塵濃度がOSHA（PEL）またはACGIH（TLV）数値超える場合はNIOSHで認定された適正な呼吸器具を使用すること。数値は3項目の表参照。但し、29CFR1910.134に定める基準数値に適合してなければならない。

- 換気について : 個人の被曝量限界値 (PLV又はTLV) を越えないように局所排気 (換気) を行う。換気装置が使用出来なければ上記の指定の呼吸器具を着用すること。
- 手の保護について : 粉塵やミストに暴露する可能性がある時は、保護グローブ(手袋)又はバリアクリームを推奨します。使用する前には十分に手を洗うこと。
- 眼の保護具について : 側面まで覆われた安全メガネまたはゴーグルを着用すること。
- その他の保護具 : 使用工具が手順通りに適正に取りつけられ、きちんと保持されているかを確認し、破損の場合の危険防止用のセーフガードを確認し、必ず安全作業着を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : ダークグレー
- 臭い : 無臭
- 沸点・融点 : 該当しない
- 引火点 : 該当しない
- 蒸気圧(mmHG) : 該当しない
- 蒸気密度(Air=1) : 該当しない
- 比重(H20=1) : 11.0-15.5
- 融解性(対水) : 不溶
- 蒸発率(速度) : 該当しない

## 10. 安定性及び反応性

- 安全性 : あり
- 不適合 : 粉塵が強い酸化剤と接触すると発火又は爆発の可能性あり。
- 危険分解生成物 : 該当しない
- 危険重合 : 発生しない

## 11. 有害性情報

製品を構成する化合物にデータ・情報は特に見当たらない。特に問題ないと思われる。

コバルトの発ガン性評価について : 国際がん研究機関 (通称 IARC) による発ガン性評価の分類基準 : IARC2B このカテゴリーの評価基準は人に対する発ガン性が疑われる (possibly) です。

コバルト煙霧と粉塵の有害評価について : 肺、皮膚及び眼の炎症の原因になる可能性があり、また皮膚及び呼吸器系は敏感に影響を受けやすいので注意が必要です。

## 12. 環境影響情報

現時点では残留性・生物蓄積性の情報はなく危険性はないが、浮遊粉塵による移動性があり比重が大きいため蓄積しやすいので環境への影響が懸念される。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄する場合は”廃棄物処理および清掃に関する法律“等の産業廃棄物に関する法律および、市町村の関連条例にもとづいて廃棄する事。廃棄するものをスクラップや再利用目的で販売することも可能です。

## 14. 輸送上の注意

国連輸送名・国連番号・容器等級 情報なし・GHS ラベル不要

15. 適用法令

JIS Z7253・米国 OSHA・米国 ACGIH・米国 ACS・国連 IARC・国連 GHS

記載内容の問い合わせ先

UHT株式会社

名古屋工場：0561-38-2101

記載内容の取り扱い

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。

危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので取り扱いには充分注意して下さい。

また注意事項は通常の手続きを対象としたものですので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえご利用ください。